

## デンソー山岳部 2011年 冬山合宿報告書

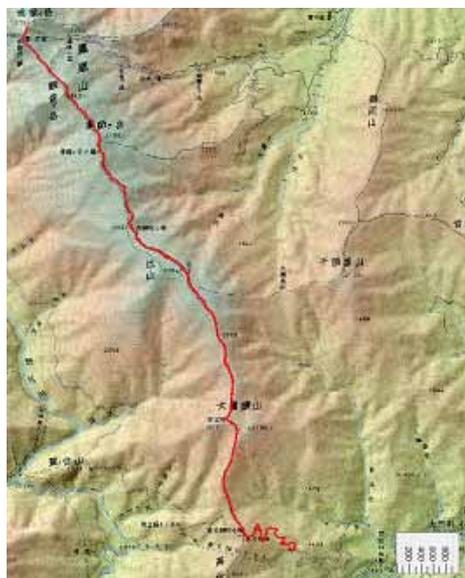
山城 南アルプス 鳳凰三山

日程 平成23年12月29日～31日（予備日1日）

メンバー 山田 明（CL） 森 朋哉（SL・食料） 亀山 誠（技術指導）  
神戸 和広（装備） 町田 修（気象） 金子 清（渉外）  
郡谷 有希（食料） 津田 廣一（記録）



観音岳山頂付近から



第1日 : 12/29（木） 晴れ

【行動記録】 歩行=5H10M

起床（5：30）—夜叉神峠登山口出発（6：50）—夜叉神峠（7：55）  
—杖立峠（9：25）—展望台2309m付近（10：20）—莓平（11：20）  
—南御室小屋テン場（12：00）—就寝（19：00）

気持ちも引き締まる寒気の中、どこか？のTV局と山梨県警の見送りを受けて、颯爽と出発。さっそく急登が始まる。偵察よりも荷が重い分、ゆっくりのペース。しかし、「最初は、もっとゆっくり！」とリーダーの声。汗も噴き出し



て1枚、脱ぎたいなあ〜と思った頃、夜叉神峠へ、1本。眼前に雪化粧をした白根三山、しばし見とれる。又、もくもくと歩き出す。杖立峠まで登ってきても、雪がない。少し、不安になってくる。展望台（2309m付近）近くから、ようやく雪がちらほら見えてくる。樹林の間から、富士山も顔を見せる。上天気だ！雪訓でバテた記憶から、少々心配していたが、大丈夫そうだ。苺平を過ぎて、ようやく雪道に変わった。ザクッ、ザクッと、ストックが心地良く刺さる。順調に、テン場へ到着、全員で肩を組んで雪面を整地。テントを張り中へ入り、担ぎ上げたビールで乾杯！（記；津田）



第2日：12/30（金） 晴れ

【行動記録】 歩行=7H00M

起床（4：30）—南御室小屋テン場出発（6：30）—砂払岳直下（7：25）—薬師岳（8：00）—観音岳（8：30）—地蔵岳直下 賽の河原（10：00）—賽の河原出発（10：35）—観音岳（11：55）—薬師小屋（12：30）—南御室小屋テン場着（13：30）就寝（18：10）

【南御室小屋～地蔵岳（往復）】

朝食のうどんを力をつけて、と思ったが餅は鍋の中に溶けてうまく分配できなかった。テントを出ると雲は無く風もなさそうな気配。とはいえ春の経験があるので耐風の備えはしている。まず南御室小屋からの砂が固まったような直登を滑らないように慎重に歩みを進める。雪はほとんど無いので無雪期の道に行く。樹林帯のなだらかな道となりヘッドランプはすぐに不要となる。尾根の東斜面で風も無く快適な道だ。しかし動き出しで身体が温まらず、つま先がしびれている。体力自慢の郡谷さんも調子が上がらないようだ。樹林の間から日の出を望む。歩き出し40分程でガマ石と呼ばれる白根三山が望める場所に着くが、風も強くすぐ出発。樹林帯を抜けた稜線の砂払岳直下の岩陰で一本をとる。空の青さが濃い。風が強い。薬師小屋を過ぎて薬師岳頂上の広い場所で、不調の郡谷さんは自分からリタイヤの申し出。薬師小屋で休憩するという。なかなか自分からは言い出せないと思う。亀山さんが送っていく。



風の強い稜線歩きが続くが、積雪もほとんど無く、砂払岳からは一時間で観音岳に到着。地蔵岳からの登山者がアイゼンをつけている。我々も一本とる間にアイゼン装着。25分間だが一本の間に亀山さんが戻る。うーん早い。観音岳からは意外に時間がかかった偵察山行を思い出し慎重に進む。



観音岳から一時間ほどで地蔵岳直下、賽の河原に到着。一本とった後、町田部長から地蔵岩の直下までのお誘い。何とかなると行って行ったが意外に岩登りになるのが早く、後ろにいた森さんもすぐ戻っていった。私はピッケルを岩の間に挟んだところで断念。戻った後に地蔵岩・オベリスクをバックに記念撮影し、帰途に就いた。

やや長い1ピッチで観音岳に到着し、一本。ここからは富士山を望む稜線歩きだ。なんとも言えず気持ち良い。観音岳から30分で薬師小屋に到着。郡谷さんと合流。どうやら楽しいひと時を過ごせたようだ。ここでアイゼンを外して軽い足取りになった。再び樹林帯となり、やがてテン場に到着。短いながらもちょっとした冬山体験を味わえた。（記；神戸）

第3日 : 12/31(土) 晴れ

【行動記録】 歩行=3H30M

起床(5:00) — 南御室小屋発(7:10) — 苺平(7:40) — 山火事跡(8:15) — 杖立峠(9:00) — 夜叉神峠(9:55) — 夜叉神峠登山口(10:40) — 白山の湯(11:45~13:45) [入浴&食事] — 刈谷(17:30)

今日も天気は良く、朝の冷え込みが一層堪える朝となった。昨晚の残りのキムチ雑炊をペロッと平らげ下山に向けて準備をする。苺平までの1ピッチさえ登りきればあとは下るだけで、もう気分は温泉へと向けて出発した。樹林帯をテンポよく進んでゆく。冷え込んだ手足も歩くにつれ温まり、到着込んだせいか少し汗ばむほどだ。苺平を抜け、下りが始まるとさらにテンポがよくなり森さんの好ペースで、はずむように進む。山火事跡では白峰三山をバックにみんなで記念撮影をする。一気に雪が少なくなるのと、この先はまた樹林帯になるため、名残惜しい気持ちを残しながら山々をしばし眺めていた。今日は年末とあって、御来光を眺めるべく登る登山者とすれ違い、時折会話をしていた。70代くらいの男性3人が私達と同じかそれより大きなザックを背負って登る姿を見て、思わず10数年後の亀山さん、町田さん、金子さんでは?と微笑んでしまった。杖立峠、夜叉神峠小屋で一本を取り、快調な足取りで一気に登山口駐車場へ着いた。白山の湯で八ヶ岳を眺めながらゆっくりと汗を流し、そばをいただき帰路につく。雪の少ない冬山だったが、寒さと風の冷たさを感じた冬山合宿を無事終えた。



(記; 郡谷)

<リーダー所見>

メンバーは新人、中堅、ベテランで構成され、合宿の目的である『新人の育成』を実行出来る良い機会となった。行動については全行程好天に恵まれ、事前準備として偵察山行や雪上訓練を行っていたため、安全登山で計画通り実施することが出来た。今年は積雪が少なく物足りない面もあったが、寒い中での行動やテント生活、アタック日の程良い強風、雪&岩場のアイゼン歩行と、一通りの冬山行動のトレーニングを行う事が出来た。若手部員には今後も冬山登山に積極的の参加してもらい、今回の経験を活かしてもらえればと考えます。

<食糧所見; 森・郡谷>

足の揃ったメンバー、初日頑張れば何とかなるルート、冬でも枯れない水場ありとの情報をふまえ、軽量化よりも内容充実、楽しくおいしい食事をとメインイベントに鍋パーティーを企画した。生の食材をふんだんに用いたキムチ鍋とし、期待通りの「年忘れ大宴会」を演出できた。又、行動後テントで温まるためにお汁粉・甘酒を準備 (by 郡谷さん)、こちらも大変好評であった。

1日目 夕食 レトルトカレー、ご飯、スープ  
2日目 朝食 カうどん(生麺) / 夕食 キムチ鍋、ご飯  
3日目 朝食 雑炊

米飯は  
夕食6合/8人  
(3日目は満腹で炊かず)

嗜好品: お汁粉、甘酒、コーヒー、紅茶オレ、しょうが紅茶、ほうじ茶、コンデンスミルク、おつまみ  
(参考) キムチ鍋材料 (大コッヘル満杯×2回戦/8人)

: 豚肉、白菜1玉、大根、ねぎ、しめじ、えのき、豆腐2丁、油揚げ、キムチ、キムチ鍋の素

<装備所見; 神戸>

- ・共同装備は、電池式ランタンを取り入れた。安全だが電池は寒さに弱い。
- ・個人的には、アイゼンと靴のフィッティングが今ひとつの方がみえた。私もつま先がややルーズ。
- ・個人のGPSは、観音岳から地藏岳まででトレース記録は途絶えた。低温の為か、翌日電池は復活した。
- その他反省
- ・スコップはザックに入れるものではなかった。ビール1缶破裂した。

## &lt;気象報告&gt;



29日21時

29日（木）

寒冷前線の通過も影響なく、北岳クッキリの好天気。ヤッケを着て歩いても汗をかかない程度の低い気温だった。

30日（金）

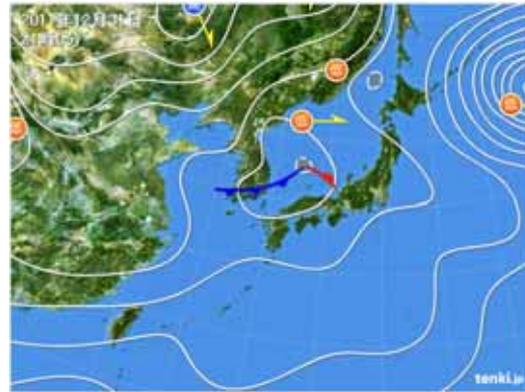
西高東低の冬型気圧配置、薬師小屋を抜けて稜線に出ると西風が強く目出帽とゴーグルが欲しくなる。時々突風で体を煽られる。部分的に防風態勢が必要な時もあった。視界は良好で周りの山々の景色が楽しめる。

31日（土）

冬型が緩み中部山岳付近の等圧線が丸く膨らむ。無風快晴、視界良好で富士山や白根三山の雄姿を堪能する。



30日21時



31日21時

## ■感想

南アルプスの白く大きな山々を眺めながら歩くのは本当に気持ち良かった。SLとして終始先頭を歩かせていただいた。天候に恵まれ雪も少なく不安はなかったが、歩行ペース設定は難しくまだ精進が必要と感じた。偵察に参加していれば休憩の刻み方にももうひと工夫できただろう。また今回食料チーフとして狙い通り楽しい食事のひとつを提供でき満足であった。皆さんありがとうございました。【森】

南アルプスというのに登山口からずいぶん進んでも雪が無いのには驚いた。2週間前の御嶽山の方が寒さも厳しく体力も使ったと感じた。一方行動時間が短かった分、テントで楽しいひと時を過ごせた。自分自身は腹の調子が思わしくなく体調管理の大切さを学んだ。【神戸】

強い冬型で日本海側の山々は積雪も例年以上に・・・の報道と裏腹に、冬山入門コースの鳳凰三山は至って穏やかで、終始富士山や周りの山々の雪景色を楽しみながらの合宿でした。それでも冬型が強くなった30日は西風に少し吹かれたが心地よい寒さで、新人の冬山体験にはうってつけの天気だった。今回の合宿の意義を探ればV8を満杯にした参加者に、チャレンジャーの新人がいた事と、スピーディな行動が随所に見れたことだろう。御嶽山での雪訓がしっかり生きていたと思います。来季は少しの物足りなさをバネに3000mの稜線へ、少しラッセルの望める山域へステップUPした計画でリーダーたちが充実させて行く事と思います。又、御一緒しましょう。【町田】

幸運にも3日間とも好天に恵まれ、北岳、間ノ岳、農鳥岳の峰々、遠方に八ヶ岳、富士山の展望を楽しむことができました。又、昨年の冬合宿は4名でしたが今回は新人2名を含め8名の参加で、寒いテントの中が賑やかで、心身ともに温くなりました。ありがとうございました。【金子】

体力不足と体調不良で薬師岳の山頂までしかいけなかったのは残念だが、自分の体調を把握することや諦める決断など、進むことが全てではないということ学んだ。冬の澄んだ空気で富士山や北岳が美しく見ることができ、とても満足のいく山行となった。【郡谷】

今回も楽しい思い出が、一つ増えました。メンバー全員に感謝！いつも、皆について行けるかな？と、心配しながらの参加ですが、できる限りは行きたいなと思うこの頃です。【津田】

<会計報告>

【費用】 一人あたり 7,600円、(別途チャリティー500円)

・食材	7,800円	: レトルト、鍋材料、無洗米、うどん他
・飲み物・嗜好品	4,800円	: お汁粉、甘酒、スープ、コーヒー・紅茶類、おつまみ他
・テント場	8,000円	: 南御室小屋 500円/人×8人×2泊
・高速道路	14,200円	: 往路4,200円×2台、復路2,900円×2台
・ガソリン代	20,400円	: 移動560キロ、ハイオク155円、レギュラー145円、2台分
・車消耗費	5,600円	: 5円/キロ、2台分
以上合計	60,800円	

【差し入れ】 片山さん：5000円 (→小屋でお酒購入)、不破さん：牛しぐれ煮 ありがとうございました